日本視能訓練士協会誌　　投稿規定

1．本誌は、日本視能訓練士協会主催の学会・講演会・研修会等で発表された研究成果の学術論文や視覚機能に関する研究および臨床報告の学術論文を、印刷体の雑誌と電子ジャーナルの2種類の方法で掲載します。
2．本誌への投稿論文は、学術論文として他誌へ投稿されていない未発表のものに限ります。
3．著者（共著者を含む）は原則として日本視能訓練士協会の会員に限ります。共著者のうち視能訓練士以外の方は本会会員でなくても構いません。
4．人体を対象とした研究では、世界医師会のヘルシンキ宣言に述べられているように、科学的および倫理的規範に準じていなければなりません。研究の参加者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意志に基づく同意（インフォームド・コンセント）が必要です。倫理に関する配慮事項を本文中に記載する必要があります。研究課題によっては、所属施設の倫理委員会またはこれに準じるものの承認が必要です。著者に対し倫理委員会に関する証明書の提出を求めることがあります。動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて飼養および保管に配慮することが必要です。「ヘルシンキ宣言（1964年6月ヘルシンキにおける第18回世界医師会総会で採択）」、「動物愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日、法律第105号）」、および「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（平成18年4月28日、環境省告示第88号）」を参照してください。
5．本誌へ掲載されたすべての論文と資料の著作権は公益社団法人日本視能訓練士協会に帰属します。投稿に際しては、著者全員の直筆による著作権譲渡同意書を添付して下さい。（同書は日本視能訓練士協会のホームページからダウンロードできます。）
6．投稿時には共著者も含む全著者の利益相反の有無に関して編集委員会に報告しなければなりません。本誌の利益相反基準は「日本眼科学会　利益相反基準」に準拠しますので、日本眼科学会のホームページから「日本眼科学会　利益相反基準」http://www.nichigan.or.jp/about/conflict.pdfを確認して下さい。日本眼科学会の書式見本に準じて利益相反に関わる報告書を作成し、添付してください。
（同書は日本眼科学会雑誌のホームページからダウンロードできます。）報告書には連絡責任者の直筆による署名が必要です。編集委員会は「日本眼科学会における公表の基準細則」に基づき、利益相反を掲載論文の末尾に記載し公表します。
7．論文を掲載するかどうかについては、査読者の意見を参考にして、編集委員会が決定します。
8．査読結果あるいは編集の方針に従って、原稿の修正、加筆、削除などを求める場合があります。
9．論文の形式は別に定める執筆要領に準拠して書かれたものに限ります。
10．編集上の事項を除いて、掲載論文の内容に関する責任は著者にあります。
11．論文を作成するまでの研究の過程において、共著者を含む著者全員がいずれかのプロセスに関わり実質的な貢献している必要があります。投稿前にすべての著者が必ず論文全体に目を通し、論文の内容を了承してください。投稿時にすべての共著者に対して、間違いなく当該論文の共著者であるかの確認をメールにて行います。
12．論文掲載料は無料です。（カラー印刷代、別冊有料分、早期公開費用は除く）
13．カラー印刷希望の場合は、その旨を希望する図表に明記して下さい。発行後製版および印刷の実費（1ページあたり8000円相当）を請求します。
14．校正は原則として著者校正を1回行います。共著の場合は校正担当者を明記してください。印刷ミスの訂正を主とし、大幅な加筆・訂正はできません。
15．論文の別冊は、20部まで無料とします。希望する別冊部数は、無料分と有料分とを合わせた冊数をオンライン投稿審査システムの投稿情報に明記して下さい。
16．原稿は原則として返却いたしません。
17．投稿期間は毎年1月1日から12月31日です。締め切りを過ぎての投稿は雑誌への掲載が遅れることをご了承ください。
18．電子ジャーナルの特典について
電子ジャーナルで要約とabstractに図表を1点掲載することが可能となりました。また、付録として動画の添付も可能になりました。図表の掲載あるいは付録の添付を希望される方は別紙の電子ジャーナル用要約およびabstract執筆要項をご覧下さい。

2023年6月改正

お問い合わせ先：日本視能訓練士協会内　協会誌編集委員会 宛
〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町一丁目8番5号新神田ビル2階
TEL：03-5209-5251　　FAX：03-6804-9233
E-Mail：hensyu@jaco.or.jp

Presented by Medical*Online

■執筆要領（印刷体雑誌、電子ジャーナル共通）
オンライン投稿審査システム（https://www.editorialmanager.com/j-oj）に従って入力してください。
原稿は原則として、パーソナルコンピュータでMicrosoft Wordなどのソフトを使用し作成して下さい。
用紙：すべてA4判を用いて下さい。
書式：明朝体、1行の文字数40字、行数25行として適当な行間をあけて下さい。
余白：用紙の上下左右に25mm以上の余白を空けてください。
行番号：要約・Abstract・本文の左側余白に行番号をつけてください。
原稿の形式等は原則として以下の如くとします。

1．原著論文　　次の区分でそれぞれ新しいページから書きはじめて下さい。
　1）要約・キーワード
　2）Abstract・Key words（半角で記載）
　3）本文（40字×25行、6枚以内）
　4）参考文献（日本語以外の論文は全て半角、日本語論文も巻・ページ・発行年は全て半角で入力）
　5）図の題および説明文
　6）図（写真）
　7）表　　＊図・表は計12点以内とします

2．症例報告　　次の区分でそれぞれ新しいページから書きはじめて下さい。
　1）要約・キーワード
　2）Abstract・Key words（半角で記載）
　3）本文（40字×25行、3枚以内）
　4）参考文献（日本語以外の論文は全て半角、日本語論文も巻・ページ・発行年は全て半角で入力）
　5）図の題および説明文
　6）図（写真）
　7）表　　＊図・表は計8点以内とします

3．執筆の具体的な要領は下記を参考にして下さい。
　1）要約・キーワード
　　タイトル、著者名、所属を記載してください。
　　原著論文の場合は600字以内、症例報告の場合は300字以内で書いて下さい。
　　論文の要旨が具体的にわかるように、原則として目的・対象および方法・結果・考按の順に書いて下さい。キーワード（5単語以内）を重要な順に列記して下さい。
　2）Abstract（英文要約）・Key words
　　英文のタイトル、著者名、所属を記載してください。
　　原著の場合は400words以内、症例報告の場合は200words以内で、日本語要約に対応させて書いて下さい。
　　半角で記載し、行間はダブルスペースで作成して下さい。
　　Key words（5単語以内）を重要な順に列記して下さい。
　　Abstract（英文タイトルを含む）はnative checkを受けてから提出して下さい。
　　Abstractのnative check（有料）の依頼を希望の方は、事務局で紹介しておりますので、お問い合わせ下さい。
　3）本文
　　原則として、以下の項目順に記述して下さい。
　　a）実験研究、臨床研究の場合：Ⅰ　緒言　Ⅱ　対象および方法　Ⅲ　結果　Ⅳ　考按
　　b）症例報告の場合：Ⅰ　緒言　Ⅱ　症例　Ⅲ　考按

Presented by Medical*Online

略語は初出時にフルスペルで記載し、以降で省略する旨を記載して下さい。
［例：Alternate Prism Cover Test（以下 APCT）］
図・表の番号は、「図1、表1、・・」と表記して下さい。
図・表の挿入希望箇所を本文原稿右側余白に朱記して下さい。（Microsoft Wordのコメント機能は用いないでください。）
文献の引用は、該当箇所の右肩に参考文献の番号を示して下さい。
［例：・・の報告[1]が散見される］本文には必ず頁数をつけて下さい。

4）参考文献

本文中に引用した文献のみを、引用順に番号とともに記載して下さい。番号は片括弧でくくって下さい。日本語以外の引用論文は、数字やピリオドを含め全て半角文字で入力して下さい。
日本語論文も巻を表す数字や引用ページ（ハイフンを含む）、発行年の表記は全て半角で入力して下さい。投稿中の論文は、論文名と投稿雑誌名（投稿中）として引用することができます。
著者名は全員を書いて下さい。ただし、著者数が7名以上の場合には、筆頭から6名までを列記し、それ以後は「,他」、「, et al」として下さい。
文献の書誌事項は例に準じて記載して下さい。
雑誌の号数の記載は不要です。（巻数の記載は必要）
雑誌名は、日本語雑誌の場合には各雑誌で決められた略称を、外国語雑誌の場合には index Medicus に示された略称をそれぞれ用いて下さい。

【眼科関連雑誌の略称】
日本眼科学会雑誌：日眼会誌　　臨床眼科：臨眼　　日本眼科紀要：眼紀
眼科臨床医報：眼臨　　神経眼科学会雑誌：神経眼科　　眼科：眼科
日本コンタクトレンズ学会雑誌：日コレ誌　　あたらしい眼科：あたらしい眼科
眼科臨床紀要：眼臨紀　　日本視能訓練士協会誌：日視会誌

a）雑誌の場合

印刷雑誌の場合　著者名:論文題名. 雑誌名 巻数: 初頁–終頁, 発行年（西暦）.
電子雑誌の場合　著者名:論文題名. 雑誌名 巻数: 初頁–終頁（または論文番号）, 発行年. DOI: xxx

＜例＞

◇鈴木 厚, 岡本紀夫, 渡邊誠樹, 切通 洋, 本倉雅信, 福田全克: 抗リン脂質抗体症候群の2例における網膜動脈白線化の経時的変化. 日眼会誌 102：455-461, 1998.
◇宇部裕恵, 畑 快右, 江頭淳一, 猪俣 孟, 緋田芳樹, 大塚 誠, 他: DNA 検査にてレーベル病と診断された1症例. 臨眼 45: 1823-1827, 1991.
◇Yamada K, Oguchi Y, Hotta Y, Nakamura M, Isashiki Y, Mashima Y: Multicenter study on the frequency of three primary mutations of mitochondrial DNA in Japanese pedigrees with Leber' s hereditary optic neuropathy: comparison with American and British counterparts. Neuroophthalmology 22: 187-193, 1999.
◇Milam AH, Hendrickson AE, Xiao M, Smith JE, Possin DE, John SK, et al: Localization of tubby-like protein 1 in developing and adult human retinas. Invest Ophthalmol Vis Sci 41: 2352-2356, 2000.
◇Yoshimura T, Sonoda KH, Sugahara M, Mochizuki Y, Enaida H, Oshima Y, et al: Comprehensive Analysis of Inflammatory Immune Mediators in Vitreoretinal Diseases. PLoS One 4: e8158, 2009. DOI: 10.1371/journal.pone.0008158

b）単行本の場合

著者名：書名. 初頁–終頁, 出版社名, 発行地名, 発行年.
著者名：論文標題. 編者名：書名. 初頁–終頁, 出版社名, 発行地, 発行年.
日本の単行本で、編者のある場合には編者名の後に（編）を書いて下さい。

Presented by Medical*Online

外国語の単行本で編者のある場合には編者名の前にInを、編者名の後にEdまたはEdsを書いて下さい。

＜例＞

◇飛見立郎: 眼疾患のやさしい知識. 58-73, 南山堂, 東京, 1985.

◇初川嘉一: 不同視. 丸尾敏夫（編）: 眼科プラクティス9. 70-73, 文光堂, 東京, 1994.

◇Susan AC: Clinical Uses of Prism. 49-52, Mosby, St.Louis, 1954.

◇Maumenee AE: An approach to the study of uveitis. In: Aronson SB, Gamble CN, Goodner EK, O'Connor GR (Ed): Clinical Methods in Uveitis. 20-40, Mosby, St.Louis, 1968.

c）非図書資料

著者名：論文題名（媒体）. 書誌, 発行年.

＜例＞

◇日本視能訓練士協会：眼位検査－プリズムカバーテストを中心に－（ビデオ）. 2005.

d）Webサイト

サイト名（媒体）：URL（最新のアクセス年月日）

＜例＞

◇Strabismus Minute（internet）: http://ttttt.oooo.rrr/bbb/content_page.（accessed 2005-01-10）

5）図の題および説明文

図の題および説明文は図にはつけず、別紙にまとめて記載して下さい。

説明文は図の内容が容易に理解できるように、簡潔明確に書いて下さい。

6）図（写真を含む）

原則として、ひとつの図ごとにA4判サイズの用紙に作成して下さい。

モノクロ印刷を希望する場合はモノクロ、カラー印刷を希望する場合はカラーの図を添付してください。図の中の字句は、原則として日本語を使用して下さい。

各図の挿入希望箇所を本文の右側余白に朱記して下さい。

※顔が映っている写真の掲載について

症例や測定風景など顔が映っている写真を掲載する際は不必要な部分を切り取ったり画像にマスクをかけるなど個人が特定できないように最大限の配慮をおこなってください。

それでも個人が特定される懸念がある場合は掲載について書面にて同意を得てください。

顔写真の掲載についての同意書の提出を求めることがあります。

7）表

原則として、ひとつの表ごとにA4判サイズの用紙に作成して下さい。

表のタイトルを表の頭部に書いて下さい。

表の記号や略字、統計分析結果などの説明は、表の下部に脚注の形で記載して下さい。

各表の挿入希望箇所を本文の右側余白に朱記して下さい。

図表は、学会のプレゼンテーションで使用したものをそのまま用いますと、文字のフォント、太字、大きさ等が印刷媒体として不釣り合いになる可能性がありますので、注意して下さい。

図表のカラー印刷を希望する場合は、その旨をオンライン投稿審査システムの投稿情報に付記してください。カラー印刷は著者が実費を負担するものとします。

8）表記

医学用語は、眼科用語集および視能矯正用語集に準じて下さい。

薬品名は一般名を用いて下さい。

商標登録済の器械や薬品の商品名には、右肩に®をつけて下さい。商標の場合は右肩に™をつけて下さい。不明の場合は、必ずメーカーに確認して下さい。

[例：マレイン酸チモロール（チモプトール®）]

[例：ビノキュラーセパ™]

固有名詞の英語表記は、当該部署に確認して正式名称を用いて下さい。

Presented by Medical*Online

［例：厚生省 the Welfare Ministry］
視力の記載法は下記の様にして下さい。
［例：右 0.6（0.8×+1.50D Cyl－1.00D Ax25°）球面度数と乱視度数の間、乱視度数と乱視軸の間はそれぞれ半角スペースを入れて下さい］
［例：左 0.01（矯正不能）］
統計のp値は、たとえば1％未満の場合は$p<0.01$と記載して下さい。

■電子ジャーナル用要約およびabstract執筆要項

電子ジャーナルでは各論文の書誌事項画面（要約およびabstract掲載画面）に図表（画像）と図の解説（キャプション）を掲載できます（これをGraphical Abstractと呼びます）。掲載を希望される方は以下についてご了承下さい。

1．1つの論文について、1つのGraphical Abstractになります。要約およびabstractには共通の図表を本文から1つ引用してそれぞれに掲載しますので、要約およびabstractの内容に図表の添付が必要な場合は、本文の図か表を1つ選択して下さい。
2．本文の図表2枚を1枚に合わせて1つのGraphical Abstractとして掲載することも可能ですが、その場合も本文で使用した図表に限ります。Graphical Abstract用に新たに作成した図表を掲載することは、要約およびabstractと本文との整合性および信憑性の問題から承認できませんのでご了承ください。
3．掲載可能な図表の画像ファイルは JPEG 形式（推奨）・GIF 形式・PNG形式のいずれかです。図表をMicrosoft ExcelやMicrosoft PowerPointで作成した場合は、以下のように保存すると画像として扱うことが可能になります。
【Windows】
図表を「コピー」し「プログラム」から「アクセサリ」の中の「ペイント」に貼り付ける。
【Mac】
図表を「すべてを選択」し「ファイル」から「画像として保存」を選び JPEG で保存する。
4．掲載可能な画像ファイルサイズは1MB（メガバイト）までです。
5．図の解説は2000字以内にして下さい。
6．図表の位置は中央、左右から選択できます。
7．Graphical Abstractについて不明な点は遠慮なく編集委員会へお問い合わせ下さい。

■投稿論文の早期公開

投稿論文の早期公開とは、査読後に著者校正などが済み校了し発刊を待つ段階の論文について、著者が希望する場合は印刷媒体の発行に先駆けて、電子ジャーナル公開システム J-STAGE で公開するものです。

1．早期公開において公開される論文は早期公開版と呼ばれるもので、巻数・号数・掲載ページなどの書誌情報が未確定の状態で公開されます。印刷媒体の発行時点で通常公開版として書誌情報が確定します。
2．早期公開版は通常公開版が公開された時点で早期公開画面から削除されますが、通常公開画面に過去の版としてとしてリンクされます。
3．早期公開版も通常公開版も同じ DOI（Digital Object Identifier）が付与されます。
4．早期公開版においてすでに校了となっているため、通常公開版に向けて早期公開版の修正をおこなうことはできません。
5．論文投稿時に早期公開の希望の有無を回答いただきます。早期公開を希望する場合は著者校正校了後に印刷媒体の発行見込み時期を踏まえ、改めて早期公開の希望を聞き、希望される場合は早期公開をおこないます。
6．早期公開に関わる費用（1篇あたり￥1,200）は著者の自己負担となります。
7．編集の進捗状況やその他の諸事情によって早期公開できない場合があります。

Presented by Medical*Online

著作権譲渡同意書

公益社団法人　日本視能訓練士協会　殿

論文名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

表記論文は，下記にサインした全執筆者が共同して書いたものであり，今まで他誌に発表されたことがなく，また他の雑誌に投稿中でないことを認めます。
表記論文が日本視能訓練士協会誌に掲載された場合は，その著作権を公益社団法人日本視能訓練士協会に譲渡することに同意します。

西暦

筆頭著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

共著者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

〃＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

〃＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

〃＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

〃＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

〃＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

〃＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

〃＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　年　　月　　日）

全著者の自筆署名を筆頭著者、共著者の順に列記してください。捺印は不要です。
なお、共著者のサインが上記の欄に書ききれない場合は、本紙をコピーしたものを使用して全員のサインを受けてください。

Presented by Medical*Online